

平成 17 年 10 月

物品購入に係る入札談合情報及びその処理概要について

静岡市

平成 17 年 9 月 7 日（水）に入札を予定していた「清水病院シャワーベッド購入」について、入札執行前に談合情報が寄せられました。これに対し、静岡市物品調達業者選定委員会は談合の有無について、調査を実施しましたので、その概要について下記のとおり公表します。

記

1 対象となる物品購入入札の概要

- (1) 件名
平成 17 年度 清病施器 第 12 号 シャワーベッド
(所管課：病院局清水病院事務局病院施設課)
- (2) 入札予定日時
平成 17 年 9 月 7 日（水）午前 10 時 00 分
- (3) 入札方法
指名競争入札
- (4) 指名人
6 者

2 経緯

- (1) 平成 17 年 9 月 6 日（火）午前 10 時 20 分、所管課に電話にて、「当該入札予定物件は A 者が落札したが、談合によるものである。」との情報が入った。
- (2) 同日、静岡市物品調達業者選定委員会（以下「委員会」という。）を開催し、予定していた 9 月 7 日の入札を中止し、談合の事実の有無を確認するため、所管課にて全指名人 6 者から事情聴取をすることを決定した。
- (3) 平成 17 年 9 月 8 日（木）、所管課にて全指名人 6 者を個別に事情聴取した。
- (4) 平成 17 年 9 月 16 日（金）、委員会を開催した。

審議結果

事情聴取の結果、全者が、「そのような事実はない、打合せ・話し合いはしていない」とのことであり、談合の事実があったと認められる証拠は得られなかった。

既に、9 月 8 日（木）より 1 ヶ月間の指名停止となっている B 者の指名を取り消し、残りの 5 者で入札執行する。

3 入札執行及びその後の対応

- (1) 全 5 者から、「本件の入札に関し、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律その他関係法令に触れる行為は行っていない。」との誓約書を徴取した後、平成 17 年 9 月 22 日（木）に入札を執行した。
- (2) 入札の結果、最低入札者は情報どおり A 者であった。
- (3) 入札結果を受け、同日、契約を締結した。
- (4) 平成 17 年 9 月 29 日（木）に開催した委員会において、入札結果等を報告し、一連の経緯について公正取引委員会へ報告することを決定した。

4 公正取引委員会への資料送付

平成 17 年 9 月 29 日（木）談合情報に係る一連の経緯について、公正取引委員会に資料を送付した。

平成18年11月28日

物品調達に係る入札談合情報及び処理概要について

静岡市財政局財政部契約課

物品調達の入札について談合情報が寄せられました。これに対し、静岡市公正入札調査委員会は談合の事実の有無について調査を実施しましたので、その概要について下記のとおり公表します。

記

1 対象の概要

平成18年度 第BS-158号 塩化カルシウム（粉塵防止用）
入札方法 制限付一般競争入札
日程 公告日 平成18年11月13日
入札説明書交付締切日 平成18年11月22日
入札（開札）日 平成18年11月29日
納入期日 平成18年12月1日から平成19年2月15日

2 事件の経緯

- (1) 平成18年11月17日午後4時15分頃、広報課から、清水区の市政への提案ポストに入札に関する不正があるとの文書が「静岡市政への提案」の用紙により投函されていた旨の連絡が入った。
- (2) 平成18年11月22日第4回公正入札調査委員会を開催し、上記1の案件の入札参加予定者に対して事情聴取を行うことを決定し、同日、入札を延期した。
- (3) 平成18年11月24日午前9時、公正取引委員会へ通報した。
- (4) 平成18年11月24日及び11月27日、入札参加予定者に対し、個別に事情聴取した。
- (5) 平成18年11月28日午前11時30分、公正入札調査委員会を開催した。

3 公正入札調査委員会の審議結果

- (1) 談合情報は、匿名で、入札価格については言及していない。
- (2) 参加業者は非公表であり、情報内の業者は参加業者ではない。
- (3) 事情聴取においては、全者が入札談合について否定している。
- (4) 事情聴取などの調査において、入札談合の事実があったと認められる証拠は得られなかった。
- (5) この結果、誓約書を提出させて、入札執行することとした。

4 その後の対応

この審議結果を受け、当該案件は平成18年11月29日に入札を執行する。
(入札後、公正取引委員会へ調査結果等の資料を提出する。)

平成 22 年 7 月 26 日

物品購入に係る入札談合情報及び処理概要について

静岡市財政局財政部契約課

物品調達の入札について談合情報が寄せられました。これに対し、静岡市公正入札調査委員会は談合の事実の有無について調査を実施しましたので、その概要について下記のとおり公表します。

記

1 対象件名

残留塩素計（第 B S—807 号）

* 理化科学試験研究機器、測定・分析機器・度量衡機器、その他（精密機器類）又は水処理装置を営業種目として A 等級に格付された者で市内に本社、本店又は営業所等を有している者による制限付一般競争入札

* 平成 22 年 7 月 15 日（木）午後 2 時入札（開札）執行予定

（平成 22 年 7 月 15 日（木）に入札中止（仕様書の内容を変更するため）の公告）

2 事件の経緯

7 月 5 日（月） 公告

7 月 13 日（火） 契約課に談合情報文書が郵便で届いた。

7 月 13 日（火） 入札説明書交付終了

7 月 14 日（水） 第 1 回公正入札調査委員会開催

・入札参加申請業者に対して事情聴取を行うことを決定

7 月 14 日（水） 入札参加申請業者に事情聴取を実施

7 月 21 日（水） 第 2 回公正入札調査委員会開催

3 公正入札調査委員会の審議結果

（1）談合情報は、匿名の文書であるが、参加業者名、落札予定者の記載がある。

（2）談合の行われた日時・場所・個人名や落札予定価格などについての情報は無い。

（3）事情聴取においては、全者が入札談合を否定し、落札者の情報についても確認ができなかった。

（4）談合情報は信ぴょう性がないとは言えないが、事情聴取の内容を考慮すると、入札談合の事実があったと認められる証拠を得ることができなかった。

4 今後の対応

公正取引委員会へ調査結果等の資料を提出する。